

ナラティブに基づいた研究法

宮坂 道夫
 (新潟大学医歯学系)
 (大学院保健学研究科看護学分野)
 (医学部保健学科看護学専攻)

I ナラティブとは何か？

「ナラティブ」の定義（1）アリストテレスの定義
 (ギリシャ悲劇を分析、共通の構造・機能を見いだした)

- ナラティブとは、作家が行為を再現してみせるものである。
- ギリシャ悲劇のナラティブには、「始まり、真ん中、終わり」からなる構造（シーケンス）と、「出来事の順序」としての構造（プロット）がある。
- プロットは登場人物によって演じられる。
- ギリシャ悲劇のナラティブの多くが、「予期に反する状況」を描き、それによって見る者の感情を揺さぶる。

「ナラティブ」の定義（2）社会言語学の定義
 (研究インタビューを想定した限定的な考え方)

- ナラティブとは、研究者の質問に対して研究参加者が与える長い回答である。
- それは通常、一つのテーマを中心にして、時系列で組み立てられる。

「ナラティブ」の定義（3）心理学と社会学の定義
 (研究インタビューと治療的会話を想定して、その中で展開されるライフストーリーと見なす)

- ナラティブは、研究インタビューや治療的会話の中で展開されていく、人生についての長い報告である。

「ナラティブ」の定義（4）社会歴史学と人類学の定義
 (ナラティブ = ライフストーリーと見る考え方)

- ナラティブは、インタビュー、観察、記録等の糸で織り上げられたライフストーリー全体である。

7 「ナラティブ」の定義（まとめ）

- ナラティブは、特徴的な構造を持つ。
- ナラティブは、「時間の流れ」と「起こった出来事の報告」を含む。
- ナラティブは、語り手が聞き手に対して、出来事を再現してみせる（実際にあったのだと、説得する）ものである。
- ナラティブは、聴衆の感情に働きかける。
- ナラティブは、研究インタビューや治療的会話の中の長い語りである。
- ナラティブは、ライフストーリーである。

8 「ナラティブ」でしょうか？

- 1 「今日、学校に行ったよ。」
- 2 「今日、学校で新しい友達ができただよ。」
- 3 「今日、学校で新しい友達ができただけど、ケンカをしちゃったよ。」

9 「ナラティブ」でしょうか？

1 「今日、学校に行ったよ。」

語り手から聞き手への「起こった出来事の報告」だが、一つの事象の報告で、「時間の流れ」がほとんどない。これだけではナラティブにはなりにくい。

10 「ナラティブ」でしょうか？

2 「今日、学校で新しい友達ができただよ。」

1に比べれば「時間の流れ」がある。「どんなふうによ」「誰と？」と話が膨らんで「長い話」になれば、ナラティブになり得る。

11 「ナラティブ」でしょうか？

3 「今日、学校で新しい友達ができただけど、ケンカをしちゃったよ。」

さらに「時間の流れ」がはっきりしている。「どんなふうによ」「誰と？」と話が膨らんで「長い話」になれば、ナラティブになり得る。

12 「ナラティブ」でしょうか？

3 「今日、学校で新しい友達ができただけど、ケンカをしちゃったよ。」
「どうしてそうなったの？」

「ナラティブ」でしょうか？

13

3 「今日、学校で新しい友達ができただけ、ケンカをしちゃったよ。」
 「どうしてそうなったの？」
 「〇〇くんっていう子でね、見た感じは怖そうだったんだけど、とても優しく、消しゴムを貸してくれたんだ。こんどお家に遊びにおいでって言ってくれたんだ。それなのに、お昼休みに一緒にサッカーやろうっていったら、そんなのつまらないって言うから、僕が怒ってたいたから、ケンカになっちゃった。」

「ナラティブ」の定義（まとめ）

14

- ナラティブは、特徴的な構造を持つ。
- ナラティブは、「時間の流れ」と「起こった出来事の報告」を含む。
- ナラティブにより、語り手は聞き手に、出来事を再現してみせる。
- ナラティブは、聞き手の感情に働きかける。
- ナラティブは、研究インタビューや治療的会話の中の長い語りである。
- ナラティブは、ライフストーリーである。

「ナラティブ」はどこにでも存在している

15

ナラティブは、神話、伝説、寓話、おとぎ話、短編小説、叙事詩、歴史、悲劇、ドラマ、コメディ、パントマイム、絵画・・・ステンドグラス、映画、コミック、ニュース項目、会話の中にある。
 ナラティブはすべての時代、すべての場所に、すべての社会の中にある。すなわちそれはまさに人類の歴史から始まっており、ナラティブのない民族はどこにも存在しない。（バルト）

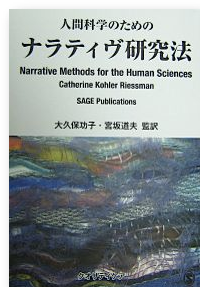
看護では、「ナラティブ」はどこにあるでしょうか？

16

- **会話**：患者との会話、家族との会話、同僚との会話、医師との会話など（看護場面での会話、業務的な会話、それ以外の会話）
- **文書**：看護記録、医師が書いたもの、患者が書いたもの、家族が書いたものなど（業務的なもの、それ以外のもの）
- **ビジュアル**：写真、画像、患者が描いたものなど（業務的なもの、それ以外のもの）
- 「情報」を読むだけのもの？ 「ストーリー」があるもの？

II リースマンによる ナラティブ分析の類型化

17



詳細は『人間科学のためのナラティブ研究法』をご覧ください！

リースマンによるナラティブ分析の分類

18

1. テーマ分析
2. 構造分析
3. 会話／パフォーマンス分析
4. ヴィジュアル分析

19

1 テーマ分析

- 語り手によって「**語られたこと**」、出来事や経験についての報告に着目。
- 何が語られているのか？**
- 最もポピュラーな方法。特に保健医療分野において。

20

1 テーマ分析

- 保健医療研究では、**患者の病いの経験を分析し、カテゴリー化する目的**で使われてきた。
- グラウンデッド・セオリーとよく混同されるが、複数事例の中の構成要素としてのテーマ（カテゴリー）からではなく、**個別事例から理論化を導く。個別のストーリーを「損なわずに」維持する。**

21

ウィリアムズによる、リウマチ性関節炎患者の研究 (Williams, G. (1984). The genesis of chronic illness: Narrative re-construction. *Sociology of Health & Illness*, 6, 175-200.)

- 患者数人に、30回のインタビューを実施。
- その中の**3人の語りを選択**。（合目的的サンプリング）
- インタビューは「なぜ関節炎にかかったと思いますか？」という簡潔な質問。
- 参加者は**長いストーリー**を語った。

22

ウィリアムズによる、リウマチ性関節炎患者の研究 (Williams, G. (1984). The genesis of chronic illness: Narrative re-construction. *Sociology of Health & Illness*, 6, 175-200.)

- 患者数人に、30回のインタビューを実施。
- その中の**3人の語りを選択**。（合目的的サンプリング）
- インタビューは「なぜ関節炎にかかったと思いますか？」という簡潔な質問。
- 参加者は**長いストーリー**を語った。

23

* 合目的的サンプリングについて

- ランダムサンプリングとは？

サンプル集団は母集団と同じ分布となるように収集される。

24

* 合目的的サンプリングについて

- ランダムサンプリングとは？
- 合目的的サンプリングとは？

サンプル集団は母集団と同じ分布となるように収集される。

例：ある評価尺度が非常に低い集団

サンプル集団は、特定の目的によって収集される。

ウィリアムズによる、リウマチ性関節炎患者の研究 (Williams, G. (1984). The genesis of chronic illness: Narrative re-construction. *Sociology of Health & Illness*, 6, 175-200.) ²⁵

- 患者数人に、30回のインタビューを実施。
- その中の3人の語りを選択。(合目的的サンプリング)
- インタビューは「なぜ関節炎にかかったと思いますか？」という簡潔な質問。
- 参加者は長いストーリーを語った。

²⁶

- 医師は、「遺伝」によって病気を説明した。
「病院ではいろんな人があれこれ質問してきて、病気の原因を探ろうとするんだ。母親は関節炎だったし、妹のことも聞かれたよ。」
- ビルはそのような医学的説明を受け入れず、「職場での有毒物質への曝露」が真の原因だと考えていた。
「化学的に誘発されたものだと思うね。アセトンとかそういった、たくさんの化学物質を使っていたからね。俺たちは手を洗ってはいたが、手には傷もあったから、化学物質が吸収されたんだろうね。・・・一緒に働いていた、俺より歳が上の連中がいて・・・みんな同じ文句を言ってたよ、そう、手に力が入らなくなったってね。こいつはおかしいと思ったよ。」

²⁷

- 結果として、いくつかの「原因のナラティブ」が得られた。
- 中には、医学的には不合理なものも。
- 「患者たちは、慢性の病いによる断裂経験から、秩序の感覚を再構築する試み(ナラティブの再構築)を多様な方法で行っている。」という仮説が生成された。

ケインによる、アルコール依存症患者の研究 (Cain, C. 1991. Personal stories: Identity acquisition and self-understanding in Alcoholics Anonymous. *Ethos*, 19,210-253.) ²⁸

- 三つのテキストを分析した。(合目的的サンプリング)
 - (1) AAが公刊した文書 (パンフレット、ビッグ・ブック)
 - (2) AAの集会での観察で作成したフィールドノート
 - (3) 集会で出会った人たちへのインタビュー。
- インタビューは「語りに指図を与えないよう心がけた。」

²⁹

- 結果として、インタビューを行った3人のうちの2人の語りは、「AAの刊行物に見い出されたストーリー構造」に非常に類似していた。
- AAのメンバーはAAのストーリーモデルを学び、そのモデルに自分の人生を当てはめ、自分自身を「アルコール依存症者」として理解する(アイデンティティを獲得する)という仮説が生成された。

*** 合目的的サンプリングについて** ³⁰

- 三つのテキストを分析した。(合目的的サンプリング)
 - (1) AAが公刊した文書 (パンフレット、ビッグ・ブック)
 - (2) AAの集会での観察で作成したフィールドノート
 - (3) 集会で出会った人たちへのインタビュー。
- インタビューは「語りに指図を与えないよう心がけた。」

31

2 構造分析

- 「どのように語られているか」に着目。
- 語り手の戦略的な目標を達成するために、ナラティブはどのように組み立てられるのか？

(一連の出来事が「実際に起こり」、語り手に重大な影響を与えたことを、語り手は聞き手にどうやって納得してもらおうとするのか？ ナラティブの形式によって、異なったストーリーになるのは何故か？)

32

- 「構造」の定義は研究者により異なる。
 - ジャンル
 - ストーリーライン全体
 - 人生についての語り（転機、山、谷、パターン）
 - 詩的な形式をとる会話に見いだされる構造。

33

ラボフとウォレツキーの研究 (Labov, W. 1972. *Language in the inner city: Studies in the black English vernacular*. Philadelphia: University of Pennsylvania Press.)

- 若者（アフリカ系アメリカ人）の暴力事件についての語りに、決まった構造があることを見いだした。

34

ラボフが見いだした、ナラティブの6要素

- 概要・・・要約や話の「要点」を伝えている部分
- 定位・・・時間、場所、登場人物、状況を伝える部分
- 行動の展開・・・事象の配列あるいは筋立て。通常は、危機や転期をとまなう。
- 評価・・・語り手が行動を振り返り、その意味について述べ、感情を伝える部分
- 解決・・・筋立ての結末
- 結尾・・・ナラティブを終えて、現在に立ち戻る部分。

35

ロビショーの研究 (Robichaux, C., & Clark, A. 2006. The practice of expert critical care nurses in situations of prognostic conflict at the end of life. *American Journal of Critical Care*, 15, 480-491.)

- 救急医療に従事する熟練看護師が、倫理的葛藤に直面したときの行動についての語りを分析。
- ラボフの構造分析を応用。

36

構造上の要素	語り
要約	これは、もう手術を受けたくないとおっしゃっていた患者さんについてのお話です
定位	その日の朝、私が担当になったとき、彼女はもう1週間以上、そこに入っていたのです
行為の展開	この患者さんは、そのうちARDS [急性呼吸不全] になっていきました
評価	彼女のお顔はとても弱っているようで、気の毒でした。
(行為の展開)	それで、私は呼吸器の専門医を呼んで、私の気持ちを話したんです。
(評価)	私には、それがまるで虐待に思える・・・まったく全く意味のないもののように思えるって。
(行為の展開)	私たちは最終的に彼女から抜管することになりました
解決	彼女は約45分後に亡くなりました
結尾	最近、倫理委員会に申しなくなりました。私たちに役立つものではないことが分かったからです。

37

ジーンの研究 (Gee, J. P. 1985. The narrativization of experience in the oral style. *Journal of Education*, 167, 9-35.)

- 統合失調症患者の語りを分析。
- 意味のまとまりを捉えにくい語り → 語りの「音声的なまとまり」に着目して、詩の構成要素を用いて分類した。

行 line 連 stanza 段 stroph 部 part

- 「連」は同じペースで言いよどまず発話されるため、これを発話の単位と見なして分析を進めた。

38

20台の女性統合失調症患者の語りの例

- Well when I was little / the most exciting thing that we used to do is
- There used to be thunderstorms on the beach that we lived on
- And we walked down to meet the thunderstorms
- And we'd turn around and run home / running away from the / running away from the thunderstorms
- That was the most exciting / one of the most exciting times we ever had was doing things like that
- Besides having like when there was hurricanes or storms out on the ocean
- The waves / they would get really big
- And we'd go down and play in the waves when they got big
- And one summer the waves were enormous
- They were just about / they went straight up and down
- So the surfers wouldn't enjoy them or anything like that
- They'd just go straight up and down / the hugest hugest things in the world
- Then they would / they would / they went all the way over the top of the edge the road / and went down the road TO our street

39

3 会話／パフォーマンス分析

- ストーリーは文脈（相互作用、歴史、制度、論証など）の中で組み立てられ、かつ受け取られる社会的人工物であることに着目。
(空から降ってくるものではなく、内なる「自我」から立ち現れてくるものでもない。)
- 語り手と聞き手、発言者と舞台背景、テキストと読者、歴史と文化といったものの中で、ストーリーがどのように共同制作されるのか？

40

- リースマンによる、身体障害を持つ男性雇用者による男性的アイデンティティ「演示」の研究。
- ブラウンによる、白人少女集団の学校での不満不満についての研究。バフチンの「収奪」（他者の言葉を自己のものにすること）、「腹話術（小説の著者などが、登場人物のような他人の声を借りて語る場合の立ち位置のこと）」という概念を応用して分析。
- ガラスによる、「見て語る」実践がうまくできない少女が、やがてクラスの語り合いの「演示」のルールを変えてしまう様子についての研究。

41

ガラスの研究 (Gallas, K. 1994. *The languages of learning: How children talk, write, dance, draw, and sing their understanding of the world*. New York: Teachers College Press.)

- ジーナは、貧しい家庭の子どもで、父親はコカイン常習者だった。
- 小学校1年生のクラスで行われる「見せて、話す」という活動（物を持ってきて、それに関わる実話を組み立てて、全員の前で話す）で、ジーナは上手く話をする事ができなかった。
- 米国社会では、一貫した話を語れないのは「能力が低い」という評価を下されてしまう。

42

- ある時、彼女は動物園にまつわる体験談を話し出した。飼育員がゴリラを連れてきて、ジーナはそれを撫でさせてもらったのだという。
- それは明らかに「嘘の話」だった。
- 教師は「今は本当の話をするところですよ！」と注意した。
- 子供たちはいっせいに教師の顔を見て、時間が止まったようになった。
- 教師は自分の発言がきわめて不適切だったと感じた。

43

- 教師は1ヶ月間、「本当の話か嘘の話のどちらかをしてよい」ことにした。
- するとジーナは、本格的な作り話をするようになった。しかも彼女は、クラスの何人かに自分の話の中の役を演じさせ、台詞を語らせた。
- 子供たちは我を忘れて喜び、歓声が学校中に響き渡った。ジーナは、「作者・演出家」という役を演じ、高い表現力を発揮していた。

4 ヴィジュアル分析

44

- **視覚的ジャンル**のもの（写真、絵画、コラージュ、ビデオダイアリー等）を用いたナラティブ分析。
- **テーマ分析と会話／パフォーマンス分析**を用い、**映像をしばしばテキストと並行して解釈**する。

45

- クリーフによる、強制収容された日系アメリカ人をとらえた異なる写真家による写真を用いた研究。
- ベルによる、写真家ジョー・スペンスのセルフ・ポートレイトを用いた、身体描写と医療化された身体への抵抗についての研究。
- タンブカーによる、画家グウェン・ジョンの自画像と手紙を用いた自伝的／伝記的研究。
- ラトレルによる、十代の妊婦たちにコラージュを制作させ、自己描写について分析した研究。
- ピニーとウォーカーダインによる、英国の少女にビデオ日記を制作させ、結果として「不在の聴衆」の効果を明らかにした研究。

ベルの研究 (Bell, S. E. (2002). Photo images: Jo Spence's narratives of living with illness. *Health*, 6,5-30.)

46

- ジョー・スペンスは英国の著名なフェミニスト、写真家、教育者、政治活動家。
- 女性たちの家事や子育てという隠された労働の記録をテーマに、私的な題材を公的なものにして表現活動を展開した。
- スペンスは乳がんを発症し、自分の姿を写真で表現し始めた。
- 特に初期の写真には、人間が「単なる医療の対象」となることへの抵抗・皮肉がこめられている。

47

- 死の直前にホスピスで撮られた彼女は穏やかに見える。
- それでも、2つの「コード」が表現されている。
- カメラにつながるコードは、彼女を写真や友人とつなぐ生活世界のライフライン。静脈点滴は、彼女を液体、栄養、生命維持のための薬物とつなぐ医学的なライフライン。

ラトレルの研究 (Luttrell, W. 2003. *Pregnant bodies, fertile minds: Gender, race and the schooling of pregnant teens*. New York: Routledge.)

48

- 十代の妊娠という社会問題をテーマに研究を行おうと考え、当事者である十代の妊婦たちへのインタビューを試みた。
- しかし、結果は「断片の寄せ集め」でしかなかった（彼女たちは皆、多くを語らなかった）。
- そこで、研究参加者に「語るのではなく、見せる・演じる」ことを促す方法を試みた。
- その一つが、コラージュによる自画像制作だった。
- 「彼女たちは、演じることを楽しんでいる様子だった。」

- 49
- 少女たちが自分の作品を完成させたところで、研究者は個々の制作者に作品をクラスメートの前で発表し、自分が伝えようとしている意味を説明するように求めた。
 - その後、グループでの質疑応答がなされた。
 - ミシェルは母親と発作性疾患を患う妹との、3人暮らし。
 - 学校にあまり行かず、クラスの仲間と遊ばず、疎んじられていた。
 - 教師たちも彼女を「難しく、手に負えない」生徒と見ていた。

- 50
- ミシェルが自分の肖像画に添えた文章・・・
- これは私を描いた絵である。私は17歳で、ひどく惨めな状態だ。・・・私は決して自分の赤ちゃんに憎しみを向けるようなことはしない。なぜなら、これは私の過失であって、赤ちゃんの過失ではないことを知っているからだ。
- ・・・今では本当に愛せる人、そして愛情を注ぎたい人がいる。その人は、私のハートのかけらだ。

このセクションのまとめ

- 51
- リースマンの分類法は簡潔明瞭で、かつナラティブという概念の幅広さや多様性を取り込んだもの。
 - すべての系統に共通するのは、**物語的転回（言語学的・演劇論的な視点）**の導入と、**文脈依存性および協働構築性**とも言うべきものへの配慮。
 - 質的分析法としての特色は、**個々のケースの全体性を保持したまま扱う（GTA等との違い）**。

- 52
- ナラティブ分析は、看護分野における質的分析の方法としても有用と思われる。
 - 特に、「意味の生成」、「概念のつながり」のような「物語性」を明らかにしたい場合は、他の方法よりも有用ではないか？
 - ただし、「ナラティブ」概念の定義や、分析の「単位」もしくは「標的」、扱われる資料のジャンルなどは、系統ごと・研究ごとに多様。研究者がきちんと定義する必要がある。

- 53
- おそらく、特に応用のききそうなナラティブ分析は、「テーマ分析」と「構造分析」を組み合わせるもの。
 - テーマ分析 → 語りの内容を解釈する。
 - 構造分析 → 語りの構造を見いだす。
 - 両者を組み合わせることで、複数事例をまとめて分析できるようになる。

III 演習

～ 大学院生とともに
行った研究の紹介 ～

55

問題意識

- 看護師は、しばしば「チーム」で動くが、その中で、個々の看護師が、自分の考え方と同僚・チームの考え方が「合わない」と感じることもある。
- 看護師たちが「個人」（自分）と「チーム」（集団）との考え方のズレに、どのように対応しているのかを知りたい。
- ひいては、看護師にとっての「チーム」のあり方を考えたい。

56

対象と方法

- 対象：看護師数名～十数名
 - 人数は「理論的飽和に至るまで」。
- データ収集方法：インタビュー
 - 半構造化面接？
 - 非構造化面接（ナラティブ・インタビュー等）？
- データ分析方法：ナラティブ分析
 - どんな分析方法を選ぶか？
 - ナラティブ分析を行うとすれば、どのタイプの分析を、どのように行うか？

57

対象と方法

- 対象：看護師数名～十数名
 - 人数は「理論的飽和に至るまで」。
- データ収集方法：インタビュー
 - 半構造化面接？
 - 非構造化面接（ナラティブ・インタビュー等）？
- **【演習】インタビュー方法、インタビューガイドを考えてみて下さい。**

58

インタビュー方法の検討

- 半構造化面接：多少とも「仮説」が必要。
- 例）「個人と集団のジレンマは、A, B, Cをめぐって生じる」という仮説がある。
（A, B, C＝経験年数の違い、患者との関係、医師との関係、性差、等）
- インタビューガイド
 - Aについてのジレンマの経験は？
 - Bについてのジレンマの経験は？
 - Cについてのジレンマの経験は？

59

インタビュー方法の検討

- 非構造化面接：「仮説」がなくてもよいが、語ってほしい「テーマ」を示しておく方がよいかもしれない。
- 「自由に話して下さい」だけでは、うまく語れない人も多い。
- リッチな語りが得られるような質問項目を想定しておく。

60

対象と方法

- 対象：看護師数名～十数名
 - 人数は「理論的飽和に至るまで」。
- データ収集方法：インタビュー
 - 半構造化面接？
 - 非構造化面接（ナラティブ・インタビュー等）？
- データ分析方法：ナラティブ分析
 - どんな分析方法を選ぶか？
 - ナラティブ分析を行うとすれば、どのタイプの分析を、どのように行うか？

61

分析方法の検討

- ナラティブ分析を行うとすれば、どのように行うべきか？

62

リースマンによるナラティブ分析の分類

1. テーマ分析
2. 構造分析
3. 会話／パフォーマンス分析
4. ヴィジュアル分析

63

リースマンによるナラティブ分析の分類

1. テーマ分析

2. 構造分析

3. 会話／パ

4. ヴィジュア

- 最もよく用いられる方法。
- GTAのように、決まった手順があるわけではない。
- 具体的にどう行うか？

64

テーマ分析（テーマ的ナラティブ分析）

- 「ストーリー性」を保ちながら「何が語られているのか？」を分析する。
 - 「ストーリー性」とは、本人が、相手に語って聞かせている事象に、どのような「意味」を与えようとしているのかの表現。
例) ○○○ のせいで △△△ になった。
○○○なのに △△△ になった。
- ヒント：起承転結のような構造、接続詞

65

語り 1

患者さんは[何時であっても]ぐっすり眠りたいという気持ちがあるのに、[眠剤の服用時間を]看護師の一存で決めていいのかなってというのがあって、それで違和感があったんですね。・・・私の考えとしては明け方くらいじゃなかったら[もう少し早い時間帯だったら]別に[眠剤を]飲んでもらっても構わないんじゃないかなって思うんですけどっていう意見を、私はその場ではなかなか言えなかったです。・・・やっぱり流れができていたので遠慮はありました。答えが始まっていたのもう言えなかったです。・・・[カンファレンスで発言できるほど、患者の情報を把握しているか]わからないので、[普段から]先輩にどう思いますかって聞いてちゃって・・・そっちの方が良いのかなって。

66

語り 1

患者さんは[何時であっても]ぐっすり眠りたいという気持ちがあるのに、[眠剤の服用時間を]看護師の一存で決めていいのかなってというのがあって、それで違和感があったんですね。・・・私の考えとしては明け方くらいじゃなかったら[もう少し早い時間帯だったら]別に[眠剤を]飲んでもらっても構わないんじゃないかなって思うんですけどっていう意見を、私はその場ではなかなか言えなかったです。・・・やっぱり流れができていたので遠慮はありました。答えが始まっていたのもう言えなかったです。・・・[カンファレンスで発言できるほど、患者の情報を把握しているか]わからないので、[普段から]先輩にどう思いますかって聞いてちゃって・・・そっちの方が良いのかなって。

67

語り 1

患者さんは[何時であっても]ぐっすり眠りたいという気持ちがあるのに、[眠剤の服用時間]を看護師の一存で決めていいのかなっていうのがあって、**服用時間を柔軟に決めるべきという意見を抱いたが、言えなかった**。・・・私の考えとしては明け方くらいじゃなかったら[もう少し早い時間帯だったら]別に[眠剤を]飲んでもらっても構わないんじゃないかなって思うんですけどって意見を、私はその場ではなかなか言えなかったです。・・・やっぱり流れができていたので遠慮はありました。答えが出始めていたのでもう言えなかったです。・・・[カンファレンスで発言できるほど、患者の情報を把握しているか]わからないので、[普段から]先輩にどう思いますかって聞いてちゃって・・・そっちの方が良いのかなって。

68

語り 1

患者さんは[何時であっても]ぐっすり眠りたいという気持ちがあるのに、[眠剤の服用時間]を看護師の一存で決めていいのかなっていうのがあって、それで違和感があったんですね。・・・私の考えとしては明け方くらいじゃなかったら[もう少し早い時間帯だったら]別に[眠剤を]飲んでもらっても構わないんじゃないかなって思う**既に方針が決まっているので、意見が言えなかった**。私はその場ではなかなか言えなかったです。・・・やっぱり流れができていたので遠慮はありました。答えが出始めていたのでもう言えなかったです。・・・[カンファレンスで発言できるほど、患者の情報を把握しているか]わからないので、[普段から]先輩にどう思いますかって聞いてちゃって・・・そっちの方が良いのかなって。

69

語り 1

患者さんは[何時であっても]ぐっすり眠りたいという気持ちがあるのに、[眠剤の服用時間]を看護師の一存で決めていいのかなっていうのがあって、それで違和感があったんですね。・・・私の考えとしては明け方くらいじゃなかったら[もう少し早い時間帯だったら]別に[眠剤を]飲んでもらっても構わないんじゃないかなって思う**自分は先輩のように患者の情報を把握できていないと思ったので、意見が言えなかった**。私はその場ではなかなか言えなかったです。・・・やっぱり流れができていたので遠慮はありました。答えが出始めていたのでもう言えなかったです。・・・[カンファレンスで発言できるほど、患者の情報を把握しているか]わからないので、[普段から]先輩にどう思いますかって聞いてちゃって・・・そっちの方が良いのかなって。

70

コードが得られた。これを複数の研究参加者から集めて、グループ化して、サブカテゴリー、カテゴリーに分類するのが、GTA、KJ法などのやり方。

眠剤の服用時間を一律に定めることに違和感を感じた

服用時間を柔軟に決めるべきという意見を抱いたが、言えなかった

既に方針が決まっているので、意見が言えなかった

自分は先輩のように患者の情報を把握できていないと思ったので、意見が言えなかった

71

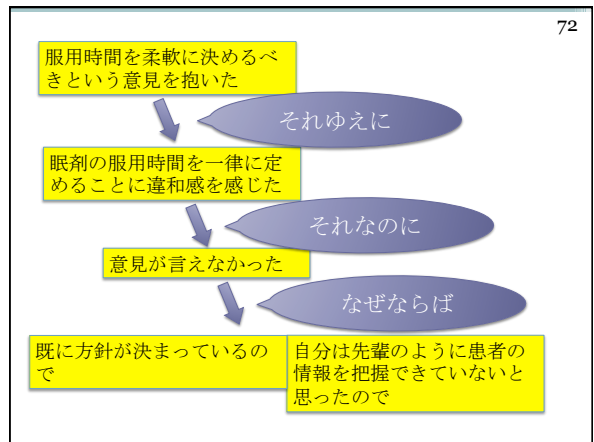
ナラティブ分析では、これらのコードの間に、どんな**つながり（ストーリー構造）**が見いだせるかを考える。

眠剤の服用時間を一律に定めることに違和感を感じた

服用時間を柔軟に決めるべきという意見を抱いたが、言えなかった

既に方針が決まっているので、意見が言えなかった

自分は先輩のように患者の情報を把握できていないと思ったので、意見が言えなかった



語り 2

73

聞雲にチーム全体としてレスキュー[疼痛管理用の頓用薬]を勧めるのはなんかちょっと違和感がある。その患者さんの生活者、生活のフィールドがあって、そこに基づいての今[つまり患者の状況があるはず]で、だから今レスキューを使いたがってないんだから、その断片的なところしか関わってなくて、それを押し付けたりするのは何か違うんじゃないかなーっていう。・・・自分の中でそれが一番疑問だったから、やっぱり先輩に返したんですよね。【患者がレスキューを使いたくないと]言ってるんだけど、レスキュー使うの何ででしょうか、みたいな。そしたら「何言ってるの」みたいな。「そんなの痛いんだから、レスキュー使って家に帰るのが普通じゃん。当たり前でしょ」みたいな。「はい」って感じでしたね。納得はしてないけど、「はい」って感じで、私は何もできなかったです。

語り 2

74

聞雲にチーム全体としてレスキュー[疼痛管理用の頓用薬]を

【演習】ナラティブ分析を行ってみましょう。

- 1) コードを見いだして、コード名を付けて下さい。
- 2) コードを並べ替えて、ストーリーを作ってみてください。

うか、みたいな。そしたら「何言ってるの」みたいな。「そんなの痛いんだから、レスキュー使って家に帰るのが普通じゃん。当たり前でしょ」みたいな。「はい」って感じでしたね。納得はしてないけど、「はい」って感じで、私は何もできなかったです。

語り 2

75

聞雲にチーム全体としてレスキュー[疼痛管理用の頓用薬]を勧めるのはなんかちょっと違和感がある。その患者さんの生活者、生活のフィールドが **レスキューを一律に勧めることに違和感を感じた**。つまり患者の状況があるはず]で、だから今レスキューを使いたがってないんだから、その断片的なところしか関わってなくて、それを押し付けたりするのは何か違うんじゃないかなーっていう。・・・自分の中でそれが一番疑問だったから、やっぱり先輩に返したんですよね。【患者がレスキューを使いたくないと]言ってるんだけど、レスキュー使うの何ででしょうか、みたいな。そしたら「何言ってるの」みたいな。「そんなの痛いんだから、レスキュー使って家に帰るのが普通じゃん。当たり前でしょ」みたいな。「はい」って感じでしたね。納得はしてないけど、「はい」って感じで、私は何もできなかったです。

語り 2

76

聞雲にチーム全体としてレスキュー[疼痛管理用の頓用薬]を勧めるのはなんかちょっと違和感がある。その患者さんの生活者、生活のフィールドがあって、そこに基づいての今[つまり患者の状況があるはず]で、だから今レスキューを使いたがってないんだから、その断片的なところしか関わってなくて、それを押し付けたりするのは何か違うんじゃないかなーっていう。・・・自分の中でそれが一番疑問だったから、やっぱり先輩に返したんですよね。【患者がレスキューを使いたくないと]言ってるんだけど、**生活者として患者を捉え、柔軟に決めるべきという意見を抱いた**。うか、みたいな。そしたら「何言ってるの」みたいな。「そんなの痛いんだから、レスキュー使って家に帰るのが普通じゃん。当たり前でしょ」みたいな。「はい」って感じでしたね。納得はしてないけど、「はい」って感じで、私は何もできなかったです。

語り 2

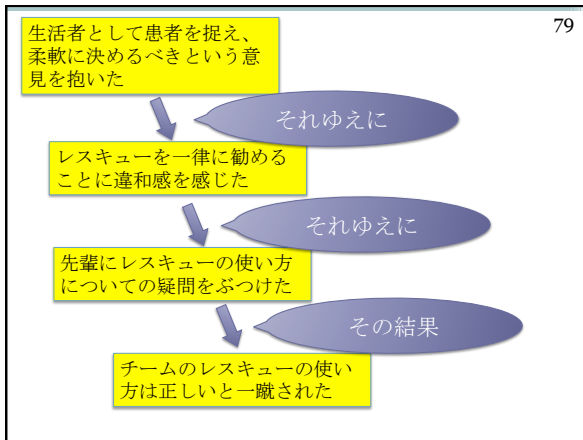
77

聞雲にチーム全体としてレスキュー[疼痛管理用の頓用薬]を勧めるのはなんかちょっと違和感がある。その患者さんの生活者、生活のフィールドがあって、そこに基づいての今[つまり患者の状況があるはず]で、だから今レスキューを使いたがってないんだから、その断片的なところしか関わってなくて、それを押し付けたりするのは何か違うんじゃないかなーっていう。・・・自分の中でそれが一番疑問だったから、やっぱり先輩に返したんですよね。【患者がレスキューを使いたくないと]言ってるんだけど、**先輩にレスキューの使い方についての疑問をぶつけた**。うか、みたいな。そしたら「何言ってるの」みたいな。「そんなの痛いんだから、レスキュー使って家に帰るのが普通じゃん。当たり前でしょ」みたいな。「はい」って感じでしたね。納得はしてないけど、「はい」って感じで、私は何もできなかったです。

語り 2

78

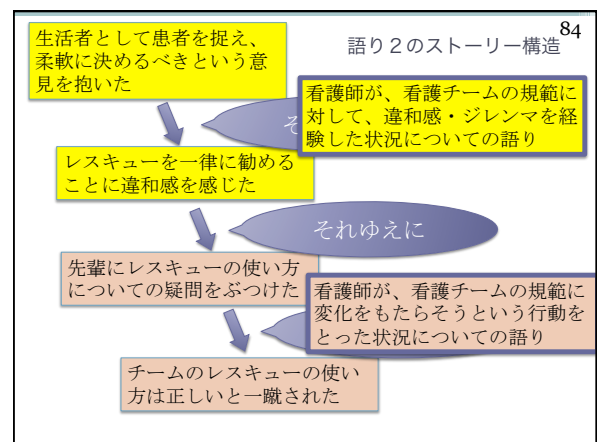
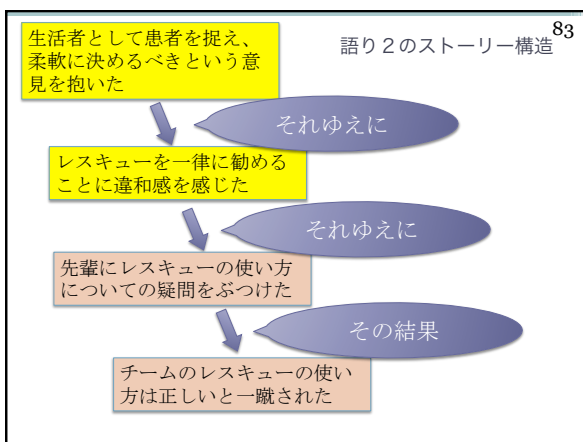
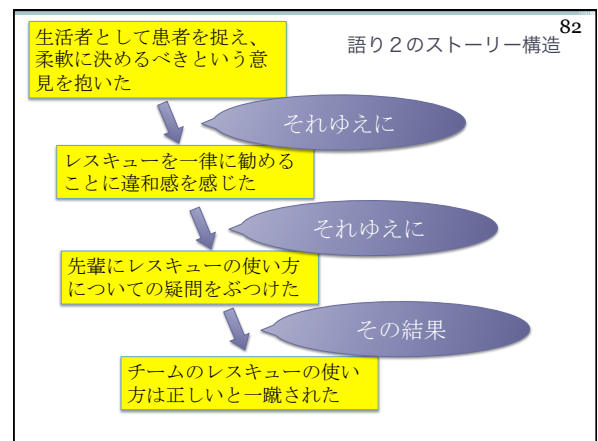
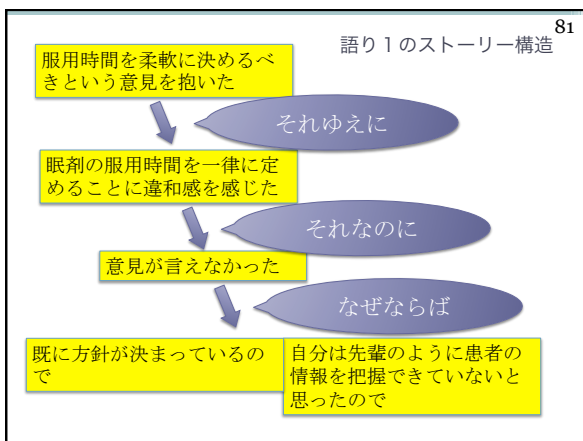
聞雲にチーム全体としてレスキュー[疼痛管理用の頓用薬]を勧めるのはなんかちょっと違和感がある。その患者さんの生活者、生活のフィールドがあって、そこに基づいての今[つまり患者の状況があるはず]で、だから今レスキューを使いたがってないんだから、その断片的なところしか関わってなくて、それを押し付けたりするのは何か違うんじゃないかなーっていう。・・・自分の中でそれが一番疑問だったから、やっぱり先輩に返したんですよね。【患者がレスキューを使いたくないと]言ってるんだけど、**チームのレスキューの使い方は正しいと一蹴された**。うか、みたいな。そしたら「何言ってるの」みたいな。「そんなの痛いんだから、レスキュー使って家に帰るのが普通じゃん。当たり前でしょ」みたいな。「はい」って感じでしたね。納得はしてないけど、「はい」って感じで、私は何もできなかったです。

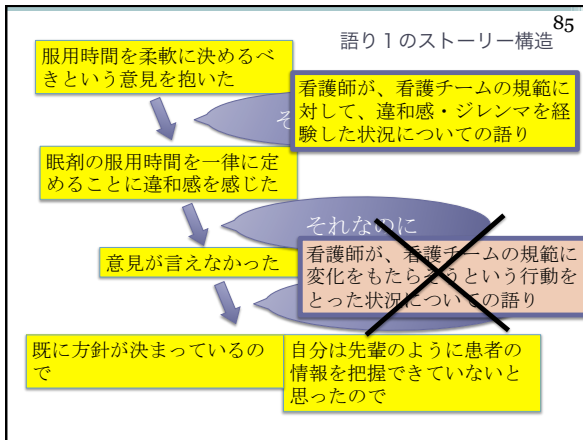


80

「ストーリー構造」を見いだせば、
複数の語りを比較することができる。

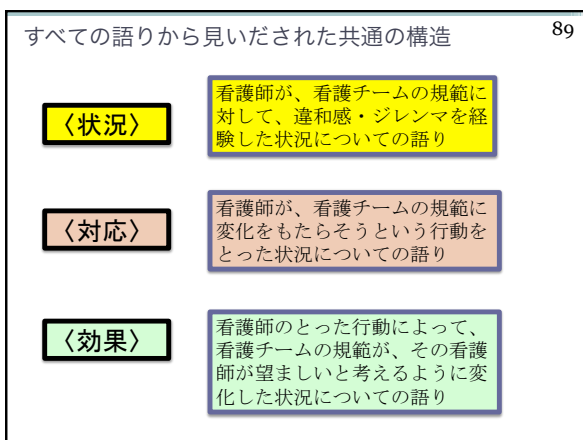
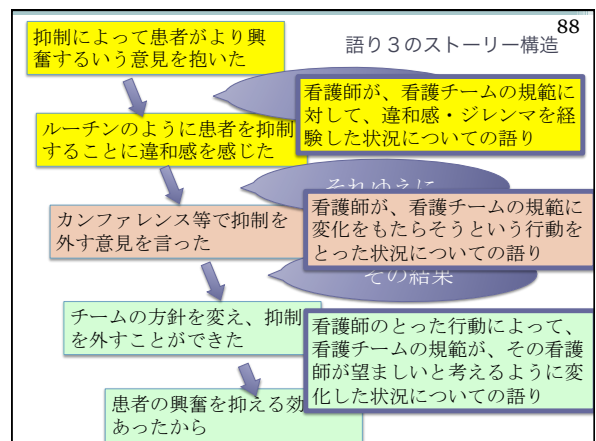
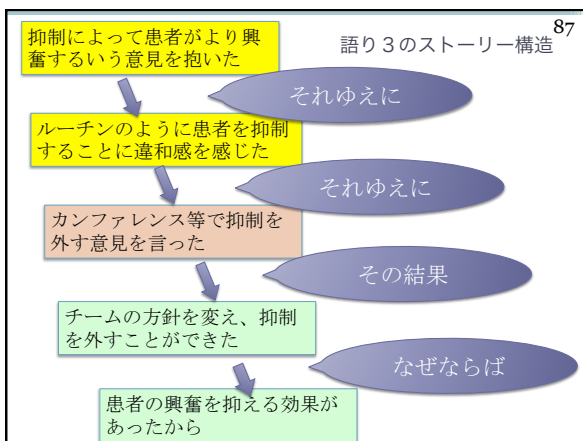
- ストーリーの「構造」に着目すると、異なった人の、異なった語りに、共通性を見だしやすくなる。
- ストーリーの「構造」で、エピソードの語りを分類することで、発見があるかもしれない。





語り3 86

私の経験から抑制服着せるにも、患者さんが動けるようにしたり、周りに聞きながらこういう方法がいいんじゃないのってやってた。・・・自分が受け持ちになった時にいろんな方法を試してたかなっていうのはあります。・・・抑制をした方が患者さんが興奮して騒いでいるとかそういうのを見て、少し自由にした方が[いいのに、患者は]動けないから興奮して安静にできてないなって感じたことはあります。・・・縛っちゃえばいいねっていう話だったから、「こうしてみない」って提案してみて。[抑制を外すことについて]カンファレンスとかで意見を言いながら、こうしていきたいということは伝えました。・・・[抑制を外せたのは]やっぱり効果があったからだと思います。



構造とテーマによる、エピソードの分類 90

テーマ 構造	チームの習慣、ルール、システム	看護経験の多少	看護師-医師の関係
〈状況〉	9	9	1
〈対応〉	7	3	0
〈効果〉	2	0	0

ナラティブ分析から得られた知見 91

1. 看護師は、違和感・ジレンマを経験しても、対応できずにいることが多い。
2. 看護師が看護チームや同僚に対する提案は、それらが以前から行われてきた処置・ケアの方法を大きく変えるものの場合、受け入れられにくい。
3. 看護師は、自らの提案が受け入れられない場合、従来の習慣・ルール・看護システムの良い面を見たり、個人で可能な範囲で患者のニーズに対応したりしている。
4. 違和感・ジレンマへの対応において看護経験の多少についての受け止め方が大きく影響している。
5. 看護師の違和感・ジレンマへの対応の結果、一定の効果が得られたのは、成功体験や良いモデルに出会った経験があるケースである。
6. 倫理的ジレンマへの対応・行動のあり方を組織的に検討することで、個々の看護師が実践能力を発揮しやすいチーム・集団の環境を整えることが不可欠である。

92

詳細は・・・

田口めぐみ、宮坂道夫
 「看護師がチームワークの中で経験する違和感・ジレンマ
 についてのナラティブ分析」
 日本看護倫理学会誌, 2015, 印刷中

「ナラティブ」を看護研究で利用する意味は？ 93

- 対象者の「語り」を分析するのに適している。
 特に以下のような場合：
 - 「一人一人の経験」を詳しく分析したい。【データを細かく断片化しない】
 - 「対象者自身による意味づけ」を分析したい。【コードやラベル間のつながりを切らない】
 - 「時間性」（変化、プロセス、意味の再構築、ライフヒストリーなど）を分析したい。【時間性への着目】
 - 「語り手と聞き手」、「登場人物どうし」の関係性を分析したい。【関係性への着目】

94

IV 「ナラティブ」のさらなる広がり

国内の看護領域でのナラティブ・アプローチ 95

ナラティブ・アプローチの実践報告を含む看護学分野の国内文献（1999年～2013年）199件のレビュー

- 語り手による経験の意味づけ・・・・・・・・・・ 13件
- 語ることの有用性・・・・・・・・・・ 7件
- 語り手と聞き手の相互作用による変化・・・・ 4件
- 新しい方法の報告・・・・・・・・・・ 3件

96

ことば

- **NBM**
- **ナラティブ・アプローチ**

97

NBM (narrative-based medicine)

- 根拠に基づく医療(EBM: evidence-based medicine)を補完するものとされてきた。
- 特に「医師」、「医学」の実践のあり方を問うもの。

98

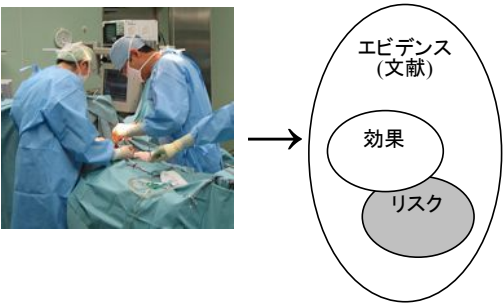
NBMは、「個別化」のための方法。

- 医療者は、医療者の視点で、標準化された視点で、問題を捉えがちである。
- 患者の視点で捉えると、同じ問題はどうか見えるだろうか？

…という発想。

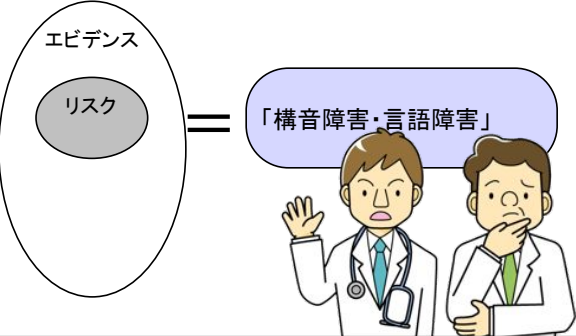
99

ある治療の「効果」について…



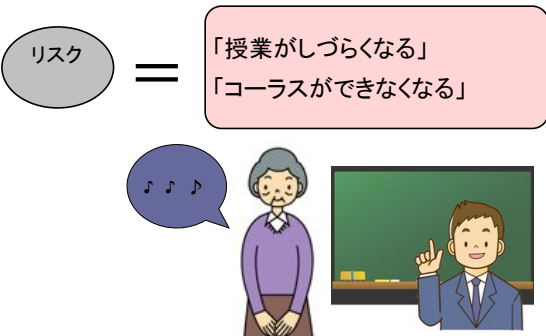
100

「リスク」=副作用、副反応など



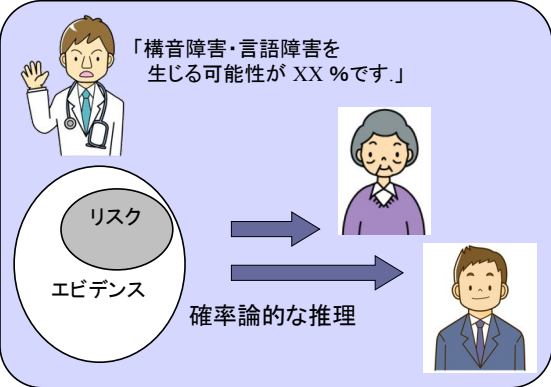
101

「患者の視点」から、捉え直してみると？



102

EBM 的な見方



103

NBM 的な見方

医療者の「文脈」

個々の患者の「文脈」

あなたにとってどんな影響がありますか？

個別的・主観的な評価は、患者から得るしかない。

リスク

「コースができなくなる」

リスク

「授業がしづらくなる」

104

ナラティブ・アプローチ

- NBMよりも広い意味で用いられている。(NBMも、ナラティブ・アプローチの一つと捉えることができる。)
- “ナラティブ”を利用した様々な方法全般を指す。
- 医師に限定されず、コメディカル、福祉領域等、広く実践されつつある。

105

文学理論

物語論転回

鍵概念

ナラティブ (物語)

社会学

臨床心理学

社会福祉学

医療

経営学

法学

倫理学

歴史学

- 20世紀後半、文学理論から生まれた「ナラティブ」という鍵概念が、様々な学問分野に変革（物語的転回）をもたらした。
- 各分野で開発された新しい方法論を「ナラティブ・アプローチ」と呼んでいる。

106

医療におけるナラティブ・アプローチの3領域

- 1) 語り
- 2) 意味づけ
- 3) ケア

107

医療におけるナラティブ・アプローチの3領域

- 1) 語り
- 2) 意味づけ
- 3) ケア

→ これまでのお話の中で扱いました。

108

医療におけるナラティブ・アプローチの3領域

- 1) 語り
- 2) 意味づけ
- 3) ケア

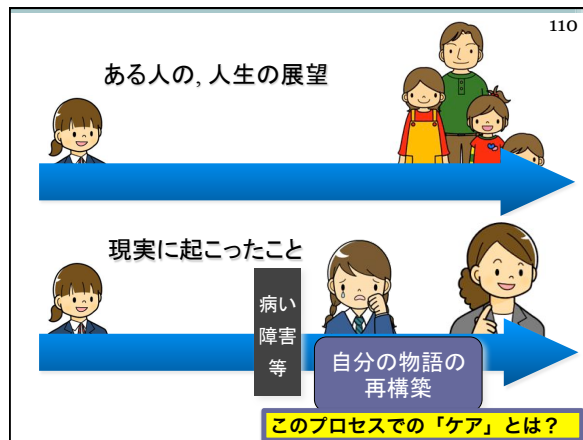
→ ヒント：「聞くこと」、「アイデンティティ」への敬意。「聞くこと」だけでケアになり得る。

109

リースマンの、南インドでの研究

～ 不妊・中絶という「人生史の断裂」を経験した女性が、「自分の物語」を再構築することで、人生の意味を意味づけ直す ～

110



111

愛知県がんセンター中央病院ほか での実践

～ デイグニティセラピー



112

デイグニティ・セラピーの質問 (Chochinov,2005より)

- あなたの人生において、特に、あなたが一番憶えていること、最も大切だと考えていることは、どんなことでしょうか？
- あなたが一番生き生きしていたと思うのは、いつ頃ですか？
- あなた自身について家族に知っておいてほしいこととか、家族に憶えておいてほしいことが、何か特別にありますか？
- (家族としての役割、職業上の役割、そして地域での役割などで) あなたが人生において果たした役割のうち最も大切なものは、何でしょう？ なぜそれはあなたにとって重要なのでしょうか、そして、その役割において、あなたは何を成し遂げたのだと思いますか？
- あなたにとって最も重要な達成は、何でしょう？ 何に一番誇りを感じていますか？

- あなたが愛する人たちに言うておかなければならないと未だに感じていることとか、もう一度言うておきたいことが、ありますか？
- 愛する人たちに対するあなたの希望や夢は、どんなことでしょうか？
- あなたが人生から学んだことで、他の人たちに伝えておきたいことは、どんなことですか？
- (息子、娘、夫/妻、両親などに) 残しておきたいアドバイスないし導きの言葉は、どんなものでしょうか？
- 将来、家族の役に立つように、残しておきたい言葉ないし指示などはありますか？
- この永久記録を作るにあたって、含めておきたいものが他にありますか？

114

効果 (遺族の評価)

- 95%が、「患者の助けになった」.
- 95%が、「このセラピーを他の終末期患者に勧めたい」.
- 78%が、「患者の“尊厳の感覚”を高めた」.
- 72%が、「患者の存在意義や価値を高めるのに役立った」.
- 65%が、「患者自身の死の受け入れに役立った」.
- 43%が、「患者の苦しみを和らげた」.
- 78%が、「作成された文書が、死別後の深い悲しみの期間において助けになった」
- 77%が、「作成された文書が、遺族自身や家族の安らぎの源になっている」.

(McClement, 2007)

115

留意点

- ・ 援助者に、患者・家族の安心と安全を保障した「尊厳の感覚」を支える能力が要求される。
- ・ 全ての患者がディグニティ・セラピーへの参加を拒否するケースも存在する(11.5%)、
- ・ セラピー参加者には文化的背景がある(白人、アングロサクソン系、プロテスタント)。(McClementら, 2007)

116

宅老所・みんなの家の実践(奥田真美氏ら)
 ～ 人生紙芝居 ～

117

関わりの3ステップ

ステップ1: 聴く、相手を知り続ける
 ↓
 ステップ2: 形にして本人に返す
 (相手に認められることの喜び・安心)
 ↓
 ステップ3: 皆で共有する
 (集団から認められることの喜び・生きる力)

118

実践例: 誕生会に向け『人生紙芝居』を皆で創る

『人生紙芝居』とは
 その人の人生を聴き取った上で創作される、その人が主人公の紙芝居

色塗り作業はデイ利用者も参加
 制作過程で利用者・職員のその人理解を深める
 “人生かみしばいで人生かみしめ合い”
 ↓
 集団の中で個が輝く
 (集団ケアの中での究極の個別ケア)

119

奥田さんのご指導のもと、新潟大学の看護学生に、認知症の高齢者への聴き取りと人生紙芝居制作をやってもらいました。

120

聴き取りの様子



紙芝居制作の様子





人生紙芝居の効果

- ・特に自分を語らないお年寄り(認知症が深い、寝たきりに近い、性格的に)への理解が深められる
- ・他の利用者の見方が変わる
 - 「あんな風にはなりたくない」
 - ↓
 - 「あなたは良い旦那を持って安心だね、幸せだね」
- ・本人とスタッフとの信頼関係が一気に深まる
 深まり方が半端じゃない！

なぜ、これらの関わりが「ケア」として成立するのは、ナラティブ研究の重要なテーマです。
 ぜひ、一緒に考えていきましょう。